

ハッピーサンデー

12月号

八戸聖ルカ教会
日曜学校
636号
2021・11・28

「クリスマスはまちがいだらけ？」

司祭 テモテ 遠藤 洋介

サンタさんといえば大きな長靴に赤い服を着て、髪の毛とヒゲが真っ白なおじいさんというイメージがありますが、サンタさんの本当の姿は実は全然ちがった、というのはわりと有名なお話です。また、聖劇の物語、いわゆるイエスさまの「降誕物語」もまた、私たちがイメージしているものとは少し違ったかもしれません。イエスさまのお生まれになった場所といえば「馬小屋」、宝を持ってきた「博士は三人」というイメージはありますが、聖書のどこにもそのような書かれています。ある人が、こうじゃないかなーと思って描いた絵であったり、聖書とは別で書かれた物語であったり、そうしたのを見たり、読んだりしたことでそうしたイメージを持ったのです。ですから、私たちが思っている降誕物語の風景は、実はまったく違ったのかもしれない。

だけど、降誕物語で大切なことはイエスさまが馬小屋で生まれたことでも、博士が三人であったことでもありません。「私たちのためにイエスさまがこの世にいられた」そのことが一番大切なことです。もうすぐクリスマス。みなさんはどのように過ごすのでしょうか。

大好きな物・人 vol.2 作 すみれくみ

お泊まり保育の夜の幼稚園
探検の思い出

おともだち

ママ

お友だち

チョコレート・ペロペロキャンディ
ネスミ

クリスマスの夜に

作・佐々木 恵

「しゅっぱーつ！」というお父さんの声で、そりがすべり始めました。乗っているのはめめちゃんとお母さん。お父さんは後ろから押しています。めめちゃんのそりは、座布団一枚と半分ぐらい、高さは60センチぐらいの箱型なので、二人乗っても大丈夫です。12月24日の夜11時過ぎ。近所のお家は真っ暗ですが、お星様はキラキラ光っていました。これから3人は午前0時のクリスマス礼拝に行くのです。教会までは歩くと30分以上かかるので、そりが便利でした。

教会に着くと、薪ストーフがごうごうと燃え、いつもの日曜よりたくさんの方が、少しきんちょうした顔で礼拝が始まるのを待っています。やがて鐘がなり、聖堂いっぱい聖歌がひびきました。ところがめめちゃん、2曲目の聖歌の頃から、眠くなってしまいました。お昼寝したのに、昔の言葉を使う礼拝は子守歌みたいで、気がつくときの中でした。

その時、後ろから誰かの足音が聞こえ、めめちゃんたちに追いつきました。「ご一家で教会ですか。」うつすら目を開けると、赤い服のおじさんがお父さんとお話しています。「わたしのそりは調子が悪くなってしまったので、途中から歩いているんです。いやいや、大丈夫。トナカイたちも休むことができますよ。この袋も、だんだん軽くなるしね。お宅にもちゃんと寄りますので。では、お先に。メリークリスマス！」大きい袋をかついだ赤い服のおじさんは、大またであつという間に消えていきました。(サンタさん？歩いてる？ええっ?)びっくりです。

お日様がまぶしい、クリスマスの朝。めめちゃんは枕元に、ほしかった絵本を見つけました。「サンタさん、来たんだ。ありがとう！」うれしい朝でした。

SS のまど

☆ 12月の活動プログラムと聖書の言葉 ☆

月 日	活 動 内 容	担 当 T	サタデーミッション
12/5	オーナメントを作ろう	るみこ T	ゴスペルを歌おう
聖書の言葉	恐れるな。わたしがあなたを助ける		イザヤ 41 : 13
12/12	アコライトに挑戦してみよう!	洋介司祭	ゴスペルを歌おう
聖書の言葉	まことをもって主を呼び求める者すべてに主は近くあられる		詩編 145 : 18
12/19	みんなで Xmas をお祝いしよう	るみこ T	ゴスペルを歌おう
聖書の言葉	私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの 恵みと知識において成長しなさい		Ⅱペテロ 3 : 18
12/26~2022・1/9 まで冬休み			
1/16	屋内でぼかぼかアナログゲーム	洋介司祭	ゴスペルを歌おう
聖書の言葉	わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。		マタイ 2 : 2

♪ 12・1月の聖歌

こども聖歌

12月

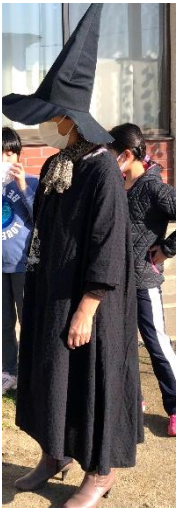
39番 かみにはさかえ

45番 まきびとひつじ

1月

50番 ひのてるかぎりは

4番 主にしたがいゆくは



風が冷たくなり、冬の到来を感じるなか、子ども達は元気に外を駆け回っています。11月の日曜学校は焼き芋会からスタートです。「今日は外ですよ。」の声で園庭に行くと魔女がお迎え。ビックリしつつも魔女と一緒にお礼拝をし、お芋が焼けるまでゲームを楽しみました。焼きたてのお芋は甘くてホクホク。おいしかった!

フィンランドで「光のモビール」と言われているヒンメリを作りました。本当は麦わらで作るのですが、日曜学校ではストローと一本のひもを使って作りました。幼児祝福式では、子ども達一人ひとりの成長を感謝し祝福していただきました。カラーキャンドル作りでは、溶かしたろうをクレパスで色をつけ、何層にも彩られたキャンドルの完成を想像しながら楽しく作りました。教会暦で降臨節(アドベント)に入りました。イエス様の誕生を楽しみに待ち望みたいと思います。



天使のお部屋

今年の収穫感謝礼拝は、豚汁の材料をみんなで持ち寄り、イエス様にお捧げしました。色とりどりの野菜や果物がたくさん! 本当は、いつもお世話になっている方々に神様からのお恵みをお届けしたかったのですが、今年も叶いませんでした。来年こそは、お届けできることを願っております。

クリスマス会の練習も始まりました。すみれ組さんは「イエス様に喜んでもらうぞ~!」と、聖劇の言葉や歌を覚えたり、聖劇で用いる道具を嬉しそうに、そして、とっても大切そうに手に取って、練習を頑張っています。年中さんも、すこしずつオペレッタの練習が始まったようです。全クラスから、ピアノの音も響いていますよ! もう少ししたら、賑やかなお遊戯の曲もきこえてくるのかな? 今年のクリスマス会は、12月17日です。子どもたちみ~んな、心を込めて頑張ります! 子どもたちが無事にその日を迎えられるよう、お祈りしたいと思います



ちょっとお話

一年の始まりはいつですか?と聞かれると「1月1日」という答が返ってくると思います。教会の1年の始まりは降臨節(クリスマスの4週間前の日曜日)から始まります。なので今年は11月28日が新年の始まりとなります。祭色は紫で、降臨節を慎みをもって過ごし、イエス様の誕生を待ち望むという意味があります。

窓にはリースが飾られ、アドベントクラッツには日曜日毎に火がともされる。そんな1年の始まりも素敵ではないでしょうか。

